

男子第二部

男子第2部は、昨年第1部から第2部出場となったダイコロを中心に、昨年の第3部で準優勝し成長著しいセンコー、古豪東芝、昨年第1部出場の戸高鋳業社、東洋水産等の群雄割拠。第1部昇格を期して熱戦が展開された。

準決勝戦第1試合

昨年第3部準優勝のセンコーは、第3回戦で難関の自衛隊体育学校を2対1で降し準決勝戦へ。一方の東芝は、緒戦の第2回戦で強豪近畿通関を破って堂々の準決勝戦進出。

試合は、東芝が先鋒戦で先取したものの、次鋒戦でこの試合から出場したセンコー手島が背負投で殊勲の一本勝し、これで流れを掴んだセンコーが勝利を重ね、結果4対1の完勝。センコーは本大会出場4年目で第1部昇格を決める

東芝 1 - 4 センコー

(先鋒)	丸山 兼夫	3段	⊖ (指導2)	沼田 貴廣	4段
(次鋒)	山田 恭平	3段	背負投	手島 尚宏	3段
(中堅)	久保寺佑次郎	3段	支釣込足	杉淵 雄太郎	3段
(副将)	岡本 明平	2段	体落	石本 光樹	3段
(大将)	武田 雅史	3段	横四方固	駒瀬 雅洋	3段

先鋒戦。両者右組み。丸山はよく動いて背負投で攻める。1分過ぎに両者に指導1。その後、丸山が攻めて、2分58秒に沼田に2度目の指導。そのまま時間。

次鋒戦。山田右組み、手島左組み。互いに内股で攻め合うも決め手無し。中盤になって場外際で手島が背負投に行けば、3分2秒、見事に決まって一本。

中堅戦。久保寺右、杉淵左のケンカ組手。上背に勝る杉淵が両襟を引き付け内股を狙い、久保寺はこれを背負投で応じる。2分34秒に久保寺に指導1。終盤、久保寺に指導2の後、残り10秒杉淵の支釣込足が決まる。

副将戦。右組み同士の両者の対戦。一回り大きな石本が奥襟を引き付け大外刈

を狙う。技の出ない岡本に38秒指導1、1分29秒指導2。2分44秒には石本の体落が決まり一本。

大将戦。両者右組み。駒瀬はよく動いて48秒に袖釣込腰で有効を先取。その後も攻め続け、2分42秒にも袖釣込腰で技あり。そのまま横四方固に押さえて一本。

準決勝戦第2試合

準決勝戦第2試合は、昨年第1部から第2部に転落したダイコロが順当に勝ち上がり、接戦を制して勝ち進んだ東洋水産に対し、ダイコロのペースで試合を進め、先鋒から副将まで一本勝を決め、順当に決勝戦に駒を進めた。

東洋水産	0	-	4	ダイコロ
(先鋒)山口 十実 初段	背負投			稲葉 将太 3段
(次鋒)赤木 一隆 2段	袈裟固			吉蘭 勇太 3段
(中堅)長田 哲治 2段	体落			佐々田 裕良 3段
(副将)設楽 和成 4段	大内刈			谷本 義人 3段
(大将)田村 貴成 3段	引分			合田 良太 3段

先鋒戦。山口右、稲葉左の組手争いで始まり、1分55秒稲葉の山口の一瞬の隙を衝いた背負投が見事に決まり一本。

次鋒戦。1分30秒過ぎ、吉蘭が右からの体落で有効を奪い、そのまま袈裟固で決める。

中堅戦。長田右、佐々田左の組手争いの中、1分過ぎ長田に指導1。続く1分30秒に指導2。その直後に佐々田の体落が見事に決まる。地元愛媛県出身の佐々田、故郷に錦を飾る堂々の一本勝。

副将戦。1分20秒、設楽に指導1。更に2分10秒には指導2。2分秒20秒に谷本が小外刈で技有を奪う。終始谷本の攻勢が続き、遂に3分30秒、谷本の大内刈が決まり一本。

大将戦。190cm、110kgの合田が右内股で攻め、175cm、110kgの田村は右背負投で応じる。合田は終始積極的に攻めるも田村のガード堅く攻め切れず引分ける。

決勝戦

優勝して第1部復活に花を添えたいダイコロと昨年第3部決勝戦で旭化成と接戦を繰り広げ、優勝で第1部に昇格したいセンコーとの決勝戦。両者甲乙付け難い好勝負を展開したが、試合巧者の多いダイコロが、接戦を制して12年ぶり2度目の第2部優勝を遂げた。

センコー		1	-	2	ダイコロ	
(先鋒)	沼田 貴廣 4段		引分		稲葉 将太 3段	
(次鋒)	手島 尚宏 3段		(一本背負投) ⊖		吉蘭 勇太 3段	
(中堅)	杉淵 雄太郎 3段	⊖	(大内刈)		佐々田裕良 3段	
(副将)	石本 光樹 3段		(指導2) ⊖		谷本 義人 3段	
(大将)	駒瀬 雅洋 3段		引分		合田 良太 3段	

先鋒戦。共に右組み。ほぼ同じ身長 of 両者は互いに組手に拘る。体重で勝る沼田がやや押し気味。沼田は序盤、右一本背負投と見せての小内刈で攻撃する。受けに回った稲葉に2分43秒、指導1。その後も沼田は強引とも思える一本背負投で攻めるが、稲葉は余裕をもってかわし時間。

次鋒戦。軽中量級の吉蘭は、30kg近く重い手島相手に堂々と立ち向かい、開始24秒、手島の引手を離れた左内股をかわすや否や、低い右組みから左一本背負投で技ありを奪う。ポイント先行された手島は猛攻し、吉蘭に2分35秒指導1。その後も手島は右引手を取れないまま内股で攻め、また、上から吉蘭に圧力を加える。吉蘭はよくしのぐが受けに回って、残り6秒に指導2を受ける。しかし、手島の反撃もここまで。ダイコロが先制点を上げる。

中堅戦。左組み同士がっぷり組み合う。杉淵の大内刈、大外刈、佐々田の払釣込足も共に決まらず。2分8秒の杉淵が強引な大外巻込で攻め佐々田をぐらつかせるも、佐々田はこれを潰す。中盤過ぎ、共にがっぷり組み合った体勢から杉淵が左大内刈から内股の変化で佐々田が横転。2分42秒技あり。ポイント

を奪われた佐々田は反撃に転じ、上から圧力を掛けると3分40秒、杉淵に指導1。しかし、佐々田の反撃も及ばず、センコーがタイに持ち込む。

副将戦。右組み同士の対戦。一回り大きな谷本が組み勝って、大外刈と支釣込足で猛攻を掛ける。2分14秒に石本に指導1。更に谷本は激しく攻め、2分49秒に大外刈で石本を大きく宙に浮かせるが、石本が体を捻って辛うじて逃れる。この攻防の後の2分52秒、石本に更に指導が与えられ、ダイコロが再びリード。

大将戦。長身の合田は両襟を掴んで右大外刈、払釣込足を連発するが、駒瀬もよく防ぐ。2分20秒過ぎには、駒瀬が右組みから右にフェイントを掛けて送足払を見舞うと、合田が大きくぐらつき、あわやと思わせるが事なきを得る。その後は、組際の攻防に時間が割かれ引分。